



SDGsに貢献する「やまがた森林ノミクス」

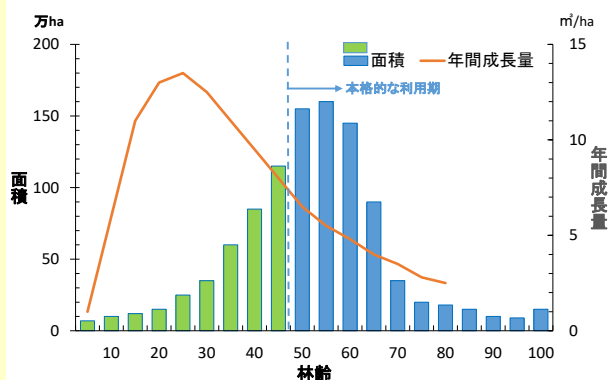
気候変動対策（計画的な間伐や再造林、木材の建築利用による炭素貯蔵）など、やまがた森林ノミクスの取組みは、SDGsの様々な目標達成に大きく寄与。

【気候変動対策※としての取組み】

※目標 13 気候変動に
具体的な対策を

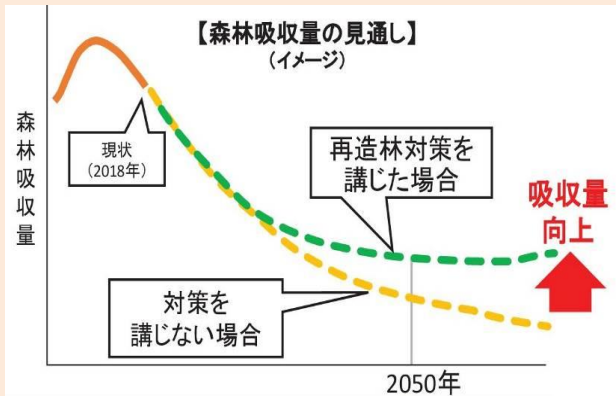


1 人工林の林齢構成と年間成長量



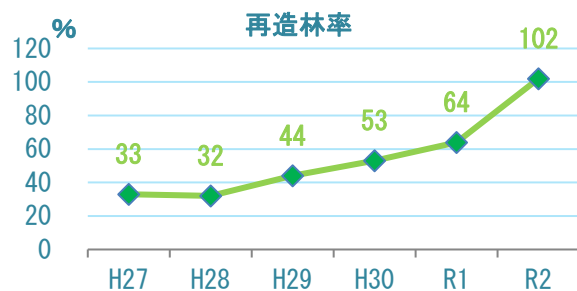
- ・戦後植林された人工林を中心として、本格的な利用期を迎えている
- ・高齢級化に伴い 1ha 当たりの成長量(吸収量)は減少

2 森林吸収量の見通し（イメージ）



- ・森林吸収量は減少するが、間伐に加え再造林対策を講じることにより、将来の吸収量を安定的に確保

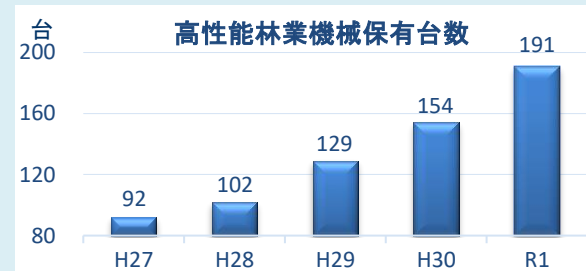
3 再造林の推進



◎主な再造林推進施策

- ・民間基金と合わせ、再造林経費の 100%を支援
- ・森林所有者への皆伐・再造林の働きかけの推進（地上レーザー支援等）
- ・低コスト再造林技術の確立（低密度植栽、下刈り回数の削減等）

4 林業の効率化



◎主な高性能林業機械の導入推進施策

- ・国の補助事業による導入支援
- ・森林環境譲与税を活用したトライアル使用の支援



【ハーベスタ】
伐倒・枝払・玉切と集積
まで実施

5 木材製品による炭素貯蔵

○森林等吸収源のルール（2013年～）

- ・伐採された国産の木材中の炭素は、木材製品が廃棄された時点で排出量を計上
⇒木材利用のインセンティブ

〈県内企業の技術で建築された木造高層ビル(仙台市)〉



◎ウッドショックによる緊急対策

- ・外国産材の需給ひっ迫、価格高騰を県産木材（A材）への置き換えと消費拡大の好機と捉え、既存の住宅・民間施設の新築に対する支援を期間限定で強化（R3.6月補正対応）

【補助金額】

住 宅：定額 20万円⇒30万円
民間施設：上限 40万円⇒60万円

【補助件数】

住 宅：100棟⇒150棟
民間施設：10棟⇒15棟（予算の範囲内）

【受付期間】令和3年12月28日まで

